

富士宮市文化財年報

第12号

令和3年度



2023

富士宮市教育委員会

富士宮市文化財年報

第12号

令和3年度

2023
富士宮市教育委員会

例 言

- 1 本書は、令和3年度に実施した富士宮市内における文化財保護事業の概要をまとめたものである。
- 2 文化財保護事業は、文化財保存・管理事業、埋蔵文化財事業、郷土資料館事業、歩く博物館事業、市史編さん事業、その他の事業に分類した。
- 3 本書の執筆・編集は、富士宮市教育委員会教育部文化課の各担当（令和3年度）が行った。

4 令和3年度文化財関係組織

教 育 長	池谷 眞徳	
教 育 部 長	植松 宏幸	
教育部参事兼文化課長兼埋蔵文化財センター所長兼市史編さん室長	深澤 哲治	
学 術 文 化 財 係 長	保竹 貴幸	（文化財管理担当）
学 術 文 化 財 係 学 芸 員	高橋 菜月	（文化財管理担当）
同 学 芸 員	柿崎 沙織	（文化財管理担当）
同 会計年度任用職員	三上 能	（文化財管理担当）
埋 蔵 文 化 財 セ ン タ ー 学 芸 員	深澤 麻衣	（埋蔵文化財担当）
同 学 芸 員	原 悠翔	（埋蔵文化財担当）
同 会計年度任用職員	馬飼野 行雄	（埋蔵文化財担当）
同 会計年度任用職員	小倉 久美	（埋蔵文化財担当）
市 史 編 さ ん 室 主 任 主 査	渡邊 俊太	（市史編さん担当）
同 学 芸 員	松本 将太	（市史編さん担当）
郷土資料館会計年度任用職員	渡井 一信	（郷土資料館長）

《表紙写真：国指定名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」》

目 次

富士宮市文化財年報第 12 号の刊行にあたって	1
I 令和 3 年度の文化財保護事業	
1 概要	4
2 文化財保護事業一年の歩み	5
II 文化財保存・管理事業	
1 文化財保護審議会	7
(1) 文化財保護審議会の開催	
2 文化財指定事業	7
(1) 田貫湖のハコネグミ	
(2) 田貫湖のアシタカツツジ群落	
(3) 旧池西坊北畠氏文書（村山浅間神社所蔵文書）	
(4) 旧大鏡坊富士氏文書（村山浅間神社所蔵文書）	
3 指定文化財整備事業	10
(1) 史跡「富士山」整備事業	
(2) 名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」整備事業	
(3) 史跡「大鹿窪遺跡」整備事業	
4 指定文化財保存管理事業	13
(1) 富士宮市文化財保護補助金の交付	
(2) 指定文化財保護対策事業	
(3) 文化財防火デー	
5 (仮称) 富士宮市郷土史博物館検討事業	15
(1) (仮称) 富士宮市郷土史博物館検討事業	
III 埋蔵文化財事業	
1 市内遺跡発掘調査事業（補助事業）	16
(1) 史跡「大鹿窪遺跡」（発掘調査報告書刊行）	
2 発掘調査事業	17
(1) 滝戸遺跡発掘調査	
(2) 村山浅間神社遺跡発掘調査	
3 開発行為に伴う埋蔵文化財の試掘・確認調査	19
(1) 大中里坂上遺跡	
(2) 向谷戸遺跡	
(3) 滝戸遺跡	
(4) 泉遺跡	

4	埋蔵文化財活用事業	24
5	富士宮市埋蔵文化財センター	24
	(1) 施設概要	
IV	郷土資料館事業	
1	展示	25
	(1) 常設展示	
	(2) 館蔵品展示	
	(3) 企画展(8月～10月)	
	(4) 静岡県富士山世界遺産センターとの共催展	
2	資料収集・保存管理	26
	(1) 資料収集	
	(2) 保存管理	
3	市内石造物悉皆調査事業	27
	(1) 令和3年度実績	
V	歩く博物館事業	
1	標柱・説明板整備	28
VI	市史編さん事業	
1	概要	29
2	市史編さん委員会	29
	(1) 市史編さん委員会の開催	
3	分野別の活動	29
	(1) 自然環境	
	(2) 民俗	
	(3) 考古	
	(4) 中世	
	(5) 近世	
	(6) 近現代	
4	その他	30
VII	その他の事業	
1	問合せ対応	31
2	小中学校総合学習への対応	31
3	講師派遣	31
	(1) 富士山まちづくり出前講座	
資料 i	各委員会等委員名簿	32
資料 ii	富士宮市内指定文化財等一覧	35

富士宮市文化財年報第 12 号の刊行にあたって

文化課長 深澤 哲治

富士宮市は、豊かな歴史を持つことから、多くの文化財があります。富士宮市では、これまで文化財の保護・保存に力を割いてきましたが、近年の文化財を取り巻く環境の変化により、観光を含めた活用に重点が置かれるようになってきました。

そのため、文化財関係の事業も史跡富士山などの公開を図るための整備に重点が置かれるようになってきました。

一方で、文化財の活用を図るためには、文化財の本質的価値を明らかにするための調査・研究が欠かせません。

「富士宮市文化財年報」第12号は、このような変化の中にある富士宮市の文化財行政についての令和3年度の活動をまとめたものです。

ここでは、主な活動についての概要をまとめます。

1 文化財保存・管理事業

市指定文化財の指定及び保護施策においては、市指定天然記念物として、「田貫湖のハコネグミ」、「田貫湖のアシタカツツジ群落」を、市指定文化財として「旧池西坊北畠氏文書（村山浅間神社所蔵文書）」、「旧大鏡坊富士氏文書（村山浅間神社所蔵文書）」を指定しました。

次に、指定文化財の整備については、史跡富士山（村山浅間神社・富士山本宮浅間大社・人穴富士講遺跡）の次の整備に向けた調査、名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」の整備工事、大鹿窪遺跡の整備に向けた実施設計を行ったほか、文化財、天然記念物の維持のための消毒や補強、防災設備の整備などを支援しました。

また、富士宮市の多数の文化財を守り後世に伝えるための収蔵・研究拠点とするべく（仮称）富士宮市立郷土史博物館の整備推進に向けた基本構想を策定しました。

2 埋蔵文化財事業

富士宮市には縄文時代を中心とする多くの遺跡が存在します。これらの保存活用に向けて埋蔵文化財センターを中心に活動しました。

富士宮市では、埋蔵文化財センターを拠点として、市内の埋蔵文化財の発掘調査による膨大な出土資料を整理・保管し、調査・研究・整理及び出土資料の収蔵や展示などを行なっています。

まず、貴重な資料である遺跡発掘調査資料については、令和2年度に行った大鹿窪遺跡の発掘調査報告書を刊行しました。また、大鹿窪遺跡の発掘成果を検討するためのシンポジウムを開催しました。

次に、遺跡発掘調査については、擁壁工事に伴う滝戸遺跡、村山浅間神社駐車場整備に伴う村山浅間神社遺跡の発掘調査を行い、また開発行為に伴い27か所の確認調査を行いました。



写真1 滝戸遺跡発掘調査風景

3 郷土資料館事業

郷土資料館では、静岡県富士山世界遺産センターを会場に静岡県富士山世界遺産センターとの共催展を行いました。

また、郷土資料館では「速報 史跡大鹿窪遺跡／滝戸遺跡発掘調査」と題した速報展を行い、発掘調査で得られた資料を展示しました。

そのほか、市内石造物悉皆調査を行っています。

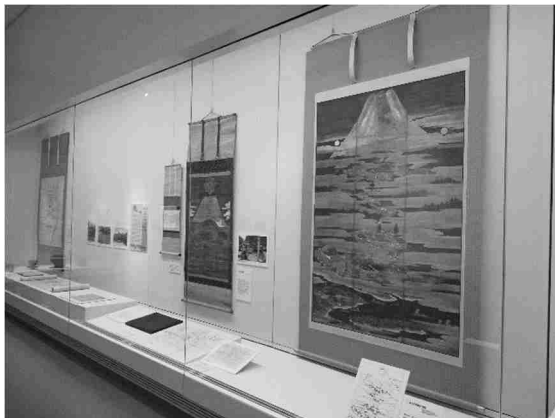


写真2 共催展展示風景



写真3 速報展展示風景

4 市史編さん事業

令和4年度の自然環境編刊行を目指して市史編さん委員会の開催、自然環境編の執筆依頼などを行いました。

また、民俗編及び通史編の執筆を見据えて調査を実施しています。

5 むすびに

富士宮市の文化財行政においては、富士宮市の豊かな歴史を背景に、多種多様な文化財の保護・調査・保存に取り組むとともに、史跡公開に向けた整備、文化財を市民のみなさんに知ってもらう学習会の開催、市史編さん事業など多くの事業に取り組んでいます。

また、今後取り組むべき課題として文化財保存活用地域計画の策定、博物館整備の推進、特別天然記念物湧玉池の美観維持など課題は山積しています。

このような状況の中ではありますが、市民が多彩で豊かな郷土の歴史に誇りを持てるよう、文化財の保護・保存・活用を図るとともに、市内の歴史的・文化的資産の一層の掘り起こしに努め、調査研究の成果を市民のみなさんに還元していきたいと考えています。

富士宮市の豊かな自然を守り伝えていくために、これからも、関係者の皆様のご支援・ご協力をいただきますようお願いいたします。

I 令和3年度の文化財保護事業

1 概要

富士宮市における令和3年度の文化財保護関連事業の概要は、下記のとおりである。

〈文化財保存・管理事業〉

史跡「富士山」、名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」、史跡「大鹿窪遺跡」の各文化財について、今年度も各整備委員会等の指導を得て調査・整備等の事業を実施した。

史跡「富士山」については、「村山浅間神社」において富士山信仰に係る遺跡「水垢離場」「龍頭池」等の整備基本計画を作成した。

名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」では、白糸ノ滝のエントランスとなる土地の整備が完了した。また既存店舗跡地の公園・排水施設等の整備を行っている。また景観を阻害する売店通りの既存店舗を移転させるための対象となる土地の買い上げを行った。

史跡「大鹿窪遺跡」では、今後の整備のため、実施設計業務を行った。

その他、文化財防火デー（1月26日）における防火運動の実施や、市内指定文化財の保存・管理事業への補助金交付や未指定文化財調査等、文化財保存・管理事業を推進した。

〈埋蔵文化財事業〉

国・県の補助金を受けて、史跡大鹿窪遺跡の再発掘調査報告書刊行を実施した。また、滝戸遺跡、村山浅間神社遺跡の発掘調査を実施した。

開発行為に伴う埋蔵文化財の試掘・確認調査を27件実施した。

〈郷土資料館事業〉

郷土資料館において、常設展のほか企画展を実施した。

資料収集・保存管理事業として、民俗資料等の収集や収蔵品くん蒸を実施した。また、市史編さん事業に伴い、市内石造物悉皆調査事業を実施した。

また、静岡県富士山世界遺産センターと共同で、「富士山表口の歴史と信仰―浅間大社と興法寺―」展を富士山世界遺産センターで実施した。

〈歩く博物館事業〉

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、歩く博物館探索会を中止した。

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に関連する「曾我の隠れ岩」「狩宿の下馬ザクラ」などについて既存の標柱・説明板の説明内容の更新、および新設の整備を行った。また歩く博物館Sコース⑩「猫沢のカシワ」について、案内板の建て替え、および新設を行った。

〈市史編さん事業〉

市史の分野別に打合せ、調査を継続して実施した。

編さん委員会では、市史の印刷仕様や内容構成について検討を行った。

〈その他の事業〉

市内の歴史・民俗等に関する問合せに対応したほか、小中学校の総合学習（富士山学習）への対応や、富士山まちづくり出前講座等の講師を務めた。

2 文化財保護事業一年の歩み

〈令和3年〉

4月7日 蟹入越遺跡埋蔵文化財確認調査実施
4月14日 若ノ宮遺跡埋蔵文化財確認調査実施
4月15日 大中里坂上遺跡埋蔵文化財確認調査実施
4月19日 野中中村遺跡埋蔵文化財確認調査実施
5月25日 第1回文化財保護審議会開催
5月26日 第1回史跡大鹿窪遺跡整備委員会開催
6月17日 福伝遺跡埋蔵文化財確認調査実施
6月18日 「田貫湖のハコネグミ」「田貫湖のアシタカツツジ群落」市文化財指定
6月21日 黒田向林遺跡埋蔵文化財確認調査実施
6月23日 野中中村遺跡埋蔵文化財確認調査実施
7月8日 向谷戸遺跡埋蔵文化財確認調査実施
7月8日 向谷戸遺跡埋蔵文化財確認調査実施
7月10日 「富士山表口の歴史と信仰―浅間大社と興法寺―」展開催（9月12日まで）
7月19日 滝戸遺跡埋蔵文化財確認調査実施
7月26日 松林遺跡埋蔵文化財確認調査実施
8月2日 坊地上遺跡埋蔵文化財確認調査実施
8月17日 郷土資料館企画展「速報 大鹿窪遺跡／滝戸遺跡 発掘調査展」開催（10月29日まで）
8月23日 代官屋敷遺跡埋蔵文化財確認調査実施
9月6日 第2回文化財保護審議会開催
9月10日 若宮遺跡埋蔵文化財確認調査実施
9月13日 柚野辻遺跡埋蔵文化財確認調査実施
9月14日 田中遺跡埋蔵文化財確認調査実施
9月24日 郷土資料館収蔵品くん蒸実施（9月26日まで）
9月25日 郷土資料館企画展「速報 大鹿窪遺跡・滝戸遺跡発掘調査展」
10月7日 神祖遺跡埋蔵文化財確認調査実施
10月20日 第2回史跡大鹿窪遺跡整備委員会開催
10月25日 時田遺跡埋蔵文化財確認調査実施
11月8日 渋沢遺跡埋蔵文化財確認調査実施
11月16日 石敷遺跡埋蔵文化財確認調査実施
11月24日 第1回名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」整備委員会開催
11月25日 泉遺跡埋蔵文化財確認調査実施
12月17日 東田遺跡埋蔵文化財確認調査実施

12月20日 第3回文化財保護審議会開催

〈令和4年〉

1月11日 第3回史跡大鹿窪遺跡整備委員会開催

1月24日 「旧池西坊北畠氏文書（村山浅間神社所蔵文書）」 「旧大鏡坊富士氏文書
（村山浅間神社所蔵文書）」市文化財指定

1月26日 文化財防火デー

1月27日 丸ヶ谷戸遺跡埋蔵文化財確認調査実施

1月28日 第1回市史編さん委員会開催

2月4日 上宿遺跡埋蔵文化財確認調査実施

2月7日 蟹入越遺跡埋蔵文化財確認調査実施

2月18日 連雀町遺跡埋蔵文化財確認調査実施

3月10日 第1回史跡富士山整備委員会開催

3月16日 出水西遺跡埋蔵文化財確認調査実施

3月18日 ジンゲン沢遺跡埋蔵文化財確認調査実施

3月25日 『史跡大鹿窪遺跡発掘調査報告書－史跡整備事業に伴う再発掘調査－』刊行

Ⅱ 文化財保存・管理事業

1 文化財保護審議会

(1) 文化財保護審議会の開催

第1回 開催日：令和3年5月25日（火）

内 容：「田貫湖のハコネグミ」及び「田貫湖のアシタカツツジ群落」の市指定文化財の指定について、指定が適当との答申を行った。「旧池西坊北畠氏文書（村山浅間神社所蔵文書）」及び「旧大鏡坊富士氏文書（村山浅間神社所蔵文書）」の市指定文化財の指定について、諮問を受け審議した。

第2回 開催日：令和3年9月6日（月）

内 容：市指定文化財の指定について諮問を受けた「旧池西坊北畠氏文書（村山浅間神社所蔵文書）」及び「旧大鏡坊富士氏文書（村山浅間神社所蔵文書）」の現物の調査を行った。

第3回 開催日：令和3年12月20日（月）

内 容：「旧池西坊北畠氏文書（村山浅間神社所蔵文書）」及び「旧大鏡坊富士氏文書（村山浅間神社所蔵文書）」の市指定文化財の指定について、指定が適当との答申を行った。指定文化財候補について検討した。

2 文化財指定事業

令和3年5月25日に富士宮市文化財保護審議会が開催され、「田貫湖のハコネグミ」「田貫湖のアシタカツツジ群落」について富士宮市文化財指定が適当であると市教育委員会に答申された。これを受け、市教育委員会は令和3年6月18日付けで市指定文化財に指定した。

また、令和3年12月20日に富士宮市文化財保護審議会が開催され、「旧池西坊北畠氏文書（村山浅間神社所蔵文書）」「旧大鏡坊富士氏文書（村山浅間神社所蔵文書）」について富士宮市文化財指定が適当であると市教育委員会に答申された。これを受け、市教育委員会は令和4年1月24日付けで市指定文化財に指定した。

これにより市指定文化財は43件となった。

(1) 田貫湖のハコネグミ

種 別 市指定・天然記念物（樹木）

指定日 令和3年6月18日

所有者 富士宮市白糸財産区

所在地 富士宮市佐折 634-1

説 明 ハコネグミは静岡県、山梨県、神奈川県、富士、箱根、伊豆地方に分布が限られる地域固有種である。環境省及び静岡県のレッドデータのカテゴリーでは共に絶滅危惧Ⅱ種に分類される。通常、樹高は 3m 程度にしかない。指定するハコネグミは県営キャンプ場内に生育する。樹高 7m50cm、根回り 1m90cm、幹は 14 本程度に叢生し、高 1m20cm（目通り）では周囲長 3m35cm（複数幹）。樹冠長は東 3m40cm、西 3m7cm、南 4m70cm、北 4m40cm 及ぶ大木である。推定樹齢 200 年。

富士宮市を代表する特徴的な樹木で、かつ稀にみる大木であるため市の天然記念物として指定し、その保護を図るものである。



写真 4 田貫湖のハコネグミ

（２） 田貫湖のアシタカツツジ群落

種 別 市指定・天然記念物（樹木）

指定日 令和 3 年 6 月 18 日

所有者 富士宮市白糸財産区、富士宮市猪之頭財産区

所在地 富士宮市佐折 634-1、猪之頭 2271-6

説 明 アシタカツツジは、静岡県愛鷹山、富士山南東麓の十里木、田貫湖、天子が岳に生育する典型的なフォッサマグナ要素の植物である。

環境省のレッドデータのカテゴリーでは絶滅危惧Ⅱ種、静岡県では準絶滅危惧種に分類される。

田貫湖の南西域にはアシタカツツジが群生し、この群落の中に少数のヤマツツジが生育し、稀に両種の雑種スルガツツジがみられる。指定対象地は南西域のうち湖に突き出た 2 つの半島に挟まれた、東西約 140m、南北 15～70m、面積 6,000 m²の範囲の保存状態の良い群生地とする。指定地周辺は県によるサイクリングコースの整備等が行われたが、残存した。

富士宮市周辺に特徴的な樹木で貴重であるだけでなく、田貫湖周辺で身近にみることのできる環境にあり、貴重な市の天然記念物として指定し、その保護を図るものである。



写真5 田貫湖のアシタカツツジ群落

(3) 旧池西坊北畠氏文書（村山浅間神社所蔵文書）

種 別 市指定・有形文化財（古文書）

指定日 令和4年1月24日

所有者 村山浅間神社（富士宮市寄託）

所在地 富士宮市長貫1131-6（芝川会館）

説 明 「旧池西坊北畠氏文書」中の中世文書8点の内6点が、天文11年（1542）の今川義元朱印状から、永禄9年（1566）の今川氏真判物に至る今川氏の朱印状・判物である。そこからは、戦国時代の村山修験が今川氏から駿遠の山伏を預かり伊豆透し山伏として活動したことなど、戦国期の山伏の動向を知ることのできる貴重な資料である。

近世文書3点は、天正19年（1591）の豊臣秀吉朱印状2点と、慶長8年（1603）井出甚助手形1点で寺領・神領の寄進に関わるものである。

「旧池西坊北畠氏文書」は、点数は少ないが、戦国期の村山修験と大名今川氏の関わりを知る上で貴重な資料である。また、中世から近世への変革期の村山を知る上でも大切である。

この文書を保存し、今後の富士山信仰の研究に公開し、利用を図ることが必要である。

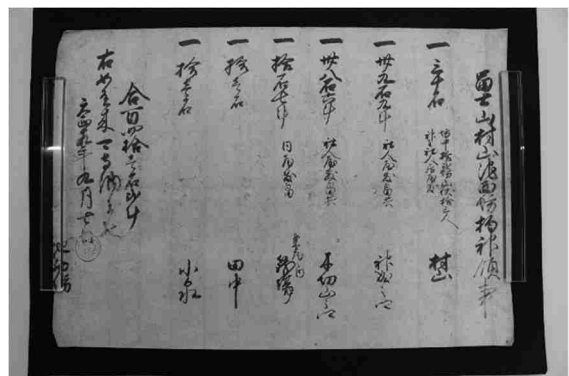


写真6 旧池西坊北畠氏文書（村山浅間神社所蔵文書）

(4) 旧大鏡坊富士氏文書（村山浅間神社所蔵文書）

種 別 市指定・有形文化財（古文書）

指定日 令和4年1月24日

所有者 村山浅間神社（富士宮市寄託）

所在地 富士宮市長貫 1131-6（芝川会館）

説 明 村山興法寺は、鎌倉時代成立と考えられているが、中世文書は 20 点にとどまる。

そのうち、10 点が天文 19 年（1550）の今川義元判物（写）から、永禄 10 年（1567）の今川氏真朱印状に至る今川氏の朱印状・判物である。そこからは、戦国時代の村山修験の動向や富士登山について知ることのできる貴重な文書である。

なお、鎌倉幕府成立期の建久 3 年（1192）と同 10 年（1199）の文書 4 点、内 1 点は建久 3 年と同 10 年（1199）の文書 4 点、内 1 点は建久 3 年と同 10 年の大宮浅間文書の写しである。これらは、年代や内容（真偽・写し等）の検討が必要だが、村山興法寺の成立年代や同寺と浅間大社との関わり等の研究に関わる資料として大切である。

近世文書 262 点・年号不明文書 305 点（差出人・宛所等から見て大部分が近世文書だと考えられる）からは、近世の修験の集落としての村山（三坊の関連や役割・下修験・門前百姓のこと等）・村山修験の活動と、その信仰圏の広まり・登山者の動向など、富士山信仰の多くを知ることができる。

また、近代文書 25 点からは明治維新の廃仏毀釈に伴う村山興法寺・村山修験の変容を知ることが出来る貴重な資料である。

「旧大鏡坊富士氏文書」は、富士山信仰の総合的研究に欠くことのできない貴重な資料である。しかも、近世の富士山信仰が江戸を中心とした「富士講」に耳目が集まり、村山興法寺を中心とした富士山信仰の認知度が低い中、この文書を保存し今後の富士山信仰の研究に公開し利用を図ることが必要である。

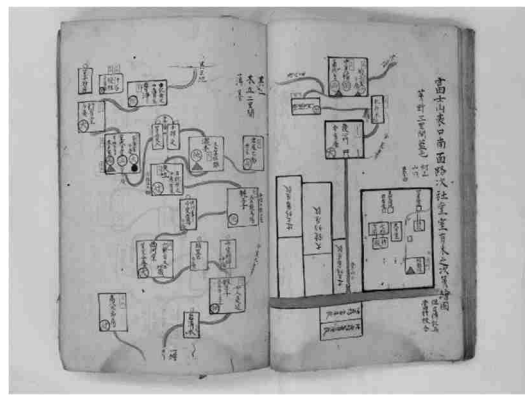


写真7 旧大鏡坊富士氏文書（村山浅間神社所蔵文書）

3 指定文化財整備事業

(1) 史跡「富士山」整備事業

史跡「富士山」（平成23年2月7日指定）について、史跡富士山整備委員会の指導を受

けながら、史跡整備事業を実施した。また、便益施設及び史跡内の管理（草刈り等）については地元の地域団体等に委託して実施した。

ア 史跡富士山整備委員会の開催

第1回 開催日：令和4年3月10日（木）

内 容：令和3年度の調査・整備事業の報告・説明（村山浅間神社整備基本計画作成、村山浅間神社測量調査、富士山本宮浅間大社地中レーダー探査、人穴富士講遺跡測量調査）。

令和4年度の調査・整備事業計画の説明（村山浅間神社測量調査、山宮浅間神社測量調査）。

イ 各構成資産の調査・整備

（ア） 村山浅間神社整備事業

村山浅間神社の「水垢離場」「龍頭池」等の整備基本計画を作成した。村山浅間神社の石段の測量調査を実施した。村山浅間神社の利用者の便に資するため、駐車場を整備した。

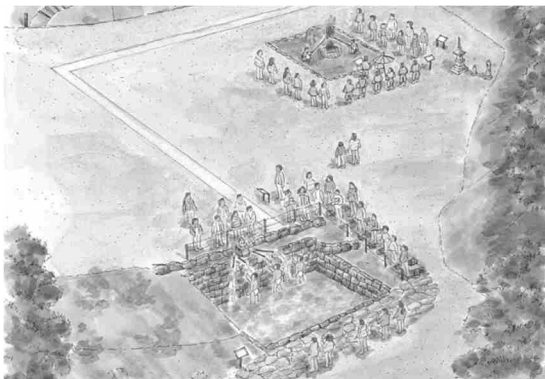


写真8 村山浅間神社整備イメージ図



写真9 村山浅間神社駐車場

（イ） 富士山本宮浅間大社整備事業

富士山本宮浅間大社の整備に伴う地中レーダー探査を行った。

（ウ） 人穴富士講遺跡整備事業

人穴富士講遺跡の地形測量調査を実施した。

（2） 名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」整備事業

世界遺産富士山の構成資産となった名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」の整備を整備基本計画に基づいて実施している。また基本計画については、整備の実施に合わせて改訂中である。整備に際しては、文化庁の指導のもと、学識経験者から成る整備委員会で整備内容の協議を重ねて進めている。

景観を向上させるための白糸ノ滝のエントランス（入り口）となる土地の整備が完了し、既存店舗の公園・排水施設等の整備を行っている。また景観を阻害する売店通りの既存店

舗を移転させるための対象となる土地の買い上げを行った。

便益施設及び指定地内の管理（草刈り等）については、地元の業者に委託し実施した。



写真 10 公園整備



写真 11 買い上げ済み地

ア 名勝及び天然記念物白糸ノ滝整備委員会の開催

第1回 開催日：令和3年11月24日（水）

内 容：令和元年度までの買い上げ・整備事業の報告・説明。令和3年度の整備計画の説明（既存売店跡地の公園整備内容及び植栽について）及び検討。

（3） 史跡「大鹿窪遺跡」整備事業

史跡「大鹿窪遺跡」（平成20年3月28日指定）について、整備工事のための実施設計を行った。また、適正な保存・公開・活用を検討するため、史跡大鹿窪遺跡整備委員会を開催した。その他、史跡管理のため、指定地内（約6,600㎡）の草刈を地元区に委託して実施した。

ア 史跡大鹿窪遺跡整備委員会の開催

1回目

開催日：令和3年5月26日（水）

内 容：令和2年度史跡大鹿窪遺跡再発掘調査の報告、令和3年度『史跡大鹿窪遺跡整備実施設計』について、内容検討を行った。

2回目

開催日：令和3年10月20日（水）

内 容：令和3年度 史跡大鹿窪遺跡整備実施設計について、内容検討を行った。

3回目

開催日：令和4年1月11日（火）

内 容：令和3年度 史跡大鹿窪遺跡整備実施設計について、内容検討を行った。

4 指定文化財保存管理事業

(1) 富士宮市文化財保護補助金の交付

「富士宮市文化財保護補助金交付要綱」に基づき、以下の通り市内指定文化財の管理・保存・活用事業に対して補助金の交付を行った。

ア 国指定重要文化財「富士山本宮浅間神社本殿」指定文化財管理事業

補助事業者：富士山本宮浅間大社

事業内容：国指定重要文化財「富士山本宮浅間神社本殿」の自動火災報知設備・消火設備（加圧式動力消防ポンプ）・避雷針の保守点検等の文化財管理事業を実施した。

イ 県指定有形文化財「富士山本宮浅間大社社殿」指定文化財管理事業

補助事業者：富士山本宮浅間大社

事業内容：県指定有形文化財「富士山本宮浅間大社社殿」の自動火災報知設備・消火設備（加圧式動力消防ポンプ）・避雷針の保守点検等の文化財管理事業を実施した。

ウ 県指定文化財「浅間大社社殿（楼門・拝殿・幣殿）」建造物保存修理事業

補助事業者：富士山本宮浅間大社

事業内容：楼門の北面について、指定文化財としての価値を維持・向上させるため、現塗料の搔落とし及び塗装修理を実施した。また拝殿・幣殿について、早期に火災を発見するため天井裏に煙流入を感知するための光電式アナログ煙感知器を設置した。また楼門について、迅速な消火活動に対応するため、放水銃に併設する消火栓を、一人操作が可能な易操作性消火栓に改修した。

エ 県指定天然記念物「北山本門寺の杉」保存事業

補助事業者：北山本門寺

事業内容：北山本門寺の杉（題目杉）について、樹木保護と侵入防止として実施した根元のウロを塞ぐ詰め物等（発泡ウレタン等）の劣化が確認されたため、既存の詰め物等を除去し、代わりに発泡ガラス資材・ピートモス等を充填することで不定根の発根を促す方法で、樹木の保護を実施した。

オ 市指定有形文化財「大日如来坐像」等保存活用事業

補助事業者：村山浅間神社

事業内容：村山浅間神社大日堂所在の市指定文化財「大日如来坐像（胎蔵界）」他5点の市指定文化財について、防カビ・防虫のためのくん蒸を行った。

カ 市指定史跡「大室古墳」保存活用事業

補助事業者：上小泉八幡宮

事業内容：平成 19 年度に大室古墳西側に設置した土留め木枠について、経年による劣化・破損が生じていたため、石積み改修する工事を実施した。

キ 市指定天然記念物「猫沢のカシワ」保存活用事業

補助事業者：所有者

事業内容：猫沢のカシワについて、近年樹勢に衰えがみられ、根元付近に開口空洞が生じ、腐朽も進行していた。また台風により腐朽部に亀裂が生じたことから、根元部分の保護と幹の倒壊防止のため緊急で補強が必要となった。そのため開口部の充填及び幹の支保工事を実施した。

(2) 指定文化財保護対策事業

国指定特別天然記念物「狩宿の下馬ザクラ」、静岡県指定天然記念物「猪之頭のミツバツツジ」、同「西山本門寺の大ヒラギ」の樹勢保持のため、令和 4 年 3 月に施肥・消毒等を実施した。



写真 12 狩宿の下馬ザクラ（施肥）

(3) 文化財防火デー

文化財防火デーは、国民全体の重要な宝である文化財を火災や震災などの災害から守るために昭和 30 年に定められたもので、毎年 1 月 26 日を中心に全国で文化財防火運動が実施されている。

市内では、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しつつ、富士山本宮浅間大社と大石寺で防火訓練が実施された。また、消防本部による消防設備の点検や、東京電力パワーグリッド（株）富士支社の協力による指定文化財建造物の漏電検査を行った。



写真 13 防災訓練（大石寺）



写真 14 消防検査（西山本門寺）

5 （仮称）富士宮市郷土史博物館検討事業

（１） （仮称）富士宮市郷土史博物館検討事業

富士宮市の歴史、民俗等に関する資料の保管・保全及び展示、調査研究、来館者の学習交流等の活動を通して、郷土への誇りや愛着を醸成し、今後の変化する社会情勢の中でいきいきと活躍できる人材を育成する「人づくりの拠点」を目指す、「（仮称）富士宮市郷土史博物館」の整備を検討するため、基本構想検討委員会を開催し、基本構想を作成した。

ア （仮称）富士宮市郷土史博物館基本構想検討委員会の開催

第１回 開催日：令和３年３月 新型コロナウイルスの影響を考慮し持ち回りで開催

内 容：基本構想策定に伴う検討内容（委員会の進め方、全体の与条件の整理、現状と課題の整理、施設の方向性）の説明及び意見の聞き取り。

第２回 開催日：令和３年８月５日

内 容：前回の検討内容の確認。基本構想の検討（基本理念、事業活動の考え方）。

第３回 開催日：令和３年１１月２６日

内 容：前回の検討内容の確認。基本構想の検討（事業展開を踏まえた施設整備の考え方、事業活動と施設整備）。

第４回 開催日：令和４年２月２１日

内 容：基本構想（素案）の検討。

Ⅲ 埋蔵文化財事業

1 市内遺跡発掘調査事業（補助事業）

国・県の補助金を受け、埋蔵文化財の発掘調査（資料整理）を以下のとおり実施した。

（１） 史跡「大鹿窪遺跡」（発掘調査報告書刊行）

令和２年度に実施した史跡整備事業に伴う再発掘調査の成果をまとめた発掘調査報告書を令和４年３月に刊行した。

所在地：富士宮市大鹿窪字東村 1543、1544

期 間：令和２年８月３日～１１月２７日

面 積：実掘面積 524 ㎡（調査対象面積 652 ㎡）

目 的：史跡整備事業に伴う発掘調査

《遺跡の概要》

大鹿窪遺跡は、富士宮市大鹿窪に所在する縄文時代草創期～早期の集落遺跡である。

これまでの調査によって、14基（指定当時）もの縄文時代草創期の竪穴住居（土を掘り込んで作った住居）の痕跡が発見され、土器・石器などの遺物も多数発見された。

《主な遺構・遺物》

遺構：竪穴住居・集石遺構・配石遺構（縄文時代草創期）

遺物：土器・石器（縄文時代草創期～早期）

《調査の成果》

平成13年度に発掘調査を実施した3-1・3-3 A調査区の一部を対象に、溶岩流の形状の記録及び自然科学的分析を実施した。遺構が構築された箇所は溶岩流の陥没地点であり、陥没した箇所に土砂が流入し、住居等の施設を構築するための掘削が可能な範囲に人々が生活していたことが明らかになった。

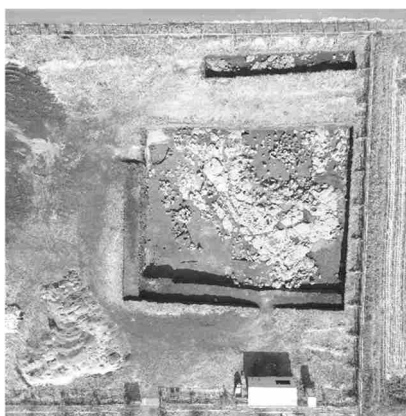


写真 15 再発掘箇所空撮



写真 16 発掘調査報告書

2 発掘調査事業

(1) 滝戸遺跡発掘調査

富士宮市立第三中学校擁壁工事に伴う発掘調査を実施した。

所在地：富士宮市大鹿窪字東村 1543、1544

期 間：令和3年6月16日～12月10日

面 積：発掘面積約 125 m²

目 的：擁壁工事に伴う発掘調査

《遺跡の概要》

滝戸遺跡は、富士宮市立第三中学校の校庭を中心に潤井川まで広がる大遺跡で、縄文・弥生・古墳時代にまたがる複合遺跡である。これまでの調査によって、縄文時代の竪穴住居跡や配石遺構、弥生時代から古墳時代にかけての住居跡や方形周溝墓などが発見され、各時代の土器・石器などの遺物も多数発見された。

《今回発見された主な遺構・遺物》

遺構：集石・配石遺構、埋甕（縄文時代中期～後期）

方形周溝墓（弥生時代）

遺物：土器・石器（縄文時代草創期・早期・中期・後期、弥生時代末期～古墳時代初頭）

《調査の成果》

縄文時代中期から後期の遺構面（縄文1面）が検出され、集石・配石遺構5基及び埋甕6基が発見された。包含層からは、井戸尻式から堀之内式までの土器及び石器が多量に出土した。主体を占める型式は曾利Ⅲ式～曾利Ⅴ式までとなっている。

縄文1面を切る形で、弥生時代の方形周溝墓が構築されていることが確認された。方形周溝墓は3基検出され、溝の中から弥生時代末期～古墳時代初頭に当たる土器片が多く出土した。また、残存率の高い二重口縁壺が1点出土している。

縄文1面の包含層が約1m続き、その下から褐色土層が検出されたため、以前の報告書に基づく下層からは遺物が出土しないものと想定していたが、一部を深掘したところ、黒曜石が大量に出土したため、褐色土層を縄文2面として精査をおこなった。

縄文2面からは、調査区中央部を中心として、縄文時代早期の撚糸文土器、縄文時代草創期の微隆起線文土器、隆線文土器及び有舌尖頭器等の遺物が出土した。

村山降下スコリア（BP14,000年と推定される）を多く含む褐色土層（10cm～20cm）から遺物がまとまって出土しているが、明確な遺構は確認されなかった。これらの遺物は、台地縁辺部からの流入によるものと考えられ、調査区周辺にこの時期の遺跡が存在するものと考えられる。



図1 対象地



写真 17 発掘状況

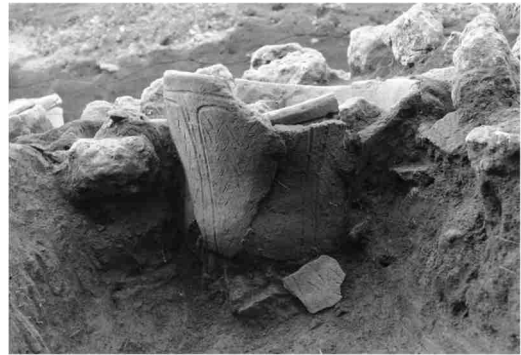


写真 18 埋甕

(2) 村山浅間神社遺跡発掘調査

村山浅間神社駐車場整備工事に伴う発掘調査を実施した。

所在地：富士宮市村山 1166-1、1166-2、1166-4、1166-5、1174-11

期 間：令和3年7月16日～9月30日

面 積：発掘面積約 180 m²

目 的：駐車場整備工事に伴う発掘調査

《遺跡の概要》

村山浅間神社遺跡は、世界遺産でもある史跡富士山を構成する村山浅間神社の周辺に広がる遺跡で、縄文時代と、富士山信仰（村山修験）に関係する平安時代から近現代までの遺跡である。

《今回発見された主な遺構・遺物》

遺構：ピット（時期不明）

遺物：陶磁器（中世・近世）

《調査の成果》

駐車場整備予定地が村山修験を構成する村山三坊の一つ池西坊の跡地に想定されるため、工事の影響を受ける箇所の発掘調査を実施した。

調査区の西側では昭和に建てられた住宅の基礎により攪乱された部分もあるが、ピットもしくは柱穴と考えられる穴を複数検出された。いずれの遺構も時代を考察しうる遺物が伴っていないため、時期判断は難しい。

遺物については昭和に建物が建っていたこともあり、現代の物が多くあったが、一部では中世、近世の所産と考えられる遺物を検出した。しかし、いずれも原位置を保っていない2次的な出土であると考えられる。

3度におよぶ確認調査の結果も総合すれば、今回の開発地は村山三坊の一つである池西坊の範囲内であった可能性が高い。



図2 対象地

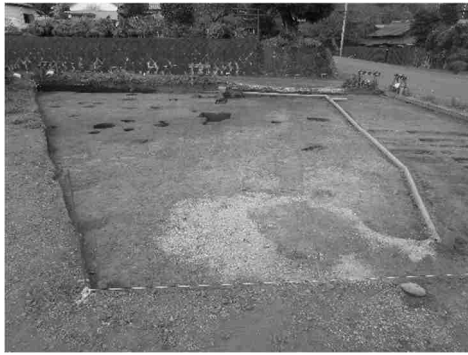


写真 19 発掘状況



写真 20 ピット

3 開発行為に伴う埋蔵文化財の試掘・確認調査

表 1 開発行為に伴う埋蔵文化財の試掘・確認調査一覧表

番号	名称	所在地	調査期間	調査面積	時代	主な遺構	主な遺物
1	蟹入越遺跡	小泉	R3. 4. 7	3. 4 m ²	縄文、弥生、古墳	なし	なし
2	若ノ宮遺跡	若の宮町	R3. 4. 14	2 m ²	古墳、中世	なし	なし
3	大中里坂上遺跡	大中里	R3. 4. 15	3 m ²	縄文	なし	土器(縄文～古墳)
4	野中中村遺跡	野中	R3. 4. 19	3 m ²	縄文、弥生、古墳	なし	なし
5	福伝遺跡	大中里	R3. 6. 17	10. 5 m ²	縄文、弥生、古墳	なし	なし
6	黒田向林遺跡	野中	R3. 6. 21	3 m ²	縄文	なし	なし
7	野中中村遺跡	野中	R3. 6. 23	3 m ²	縄文、弥生、古墳	なし	なし
8	向谷戸遺跡	大久保	R3. 7. 8	3 m ²	縄文、弥生、古墳	なし	土器・石器(縄文)
9	滝戸遺跡	野中	R3. 7. 19	3. 4 m ²	縄文、弥生、古墳	なし	土器・石器(縄文)
10	松林遺跡	羽鮒	R3. 7. 26	2. 5 m ²	縄文	なし	なし
11	坊地上遺跡	野中	R3. 8. 2	2. 7 m ²	縄文、弥生、古墳	なし	なし

12	代官屋敷遺跡	小泉	R3. 8. 23	2 m ²	縄文、古墳	なし	なし
13	若宮遺跡	小泉	R3. 9. 10	3 m ²	縄文、弥生	なし	なし
14	柚野辻遺跡	上柚野	R3. 9. 13	4 m ²	縄文、弥生、古墳	なし	なし
15	田中遺跡	田中町	R3. 9. 14	3 m ²	弥生	なし	なし
16	神祖遺跡	小泉	R3. 10. 7	6 m ²	縄文、古墳	なし	なし
17	時田遺跡	大岩	R3. 10. 25	3 m ²	縄文、古墳	なし	なし
18	渋沢遺跡	淀師	R3. 11. 8	3 m ²	弥生、中世	なし	なし
19	石敷遺跡	小泉	R3. 11. 16	3 m ²	縄文、弥生、古墳、 奈良、中世	なし	なし
20	泉遺跡	泉町	R3. 11. 25	13 m ²	縄文、弥生、古墳、 平安、近世	なし	土器(古墳～ 奈良・平安)
21	東田遺跡	中里東町	R3. 12. 17	4 m ²	弥生、古墳	なし	なし
22	丸ヶ戸遺跡	大岩	R4. 1. 27	3 m ²	縄文、弥生、古墳、中世	なし	なし
23	上宿遺跡	小泉	R4. 2. 4	4. 5 m ²	縄文、古墳	なし	なし
24	蟹入越遺跡	小泉	R4. 2. 7	10 m ²	縄文、弥生、古墳	なし	なし
25	連雀町遺跡	東町	R4. 2. 18	3 m ²	弥生、古墳	なし	なし
26	出水西遺跡	大岩	R4. 3. 16	9 m ²	古墳	なし	なし
27	ジンゲン沢遺跡	小泉	R4. 3. 18	1. 5 m ²	縄文、古墳	なし	なし



図3 確認調査実施箇所位置図 (S=1/60,000)

(1) 大中里坂上遺跡

《遺跡の概要》

富士宮市大中里に所在する遺跡であり、市の西域を下る羽鮒丘陵の麓部分を包蔵地の範囲とする。本調査の記録こそないが、縄文時代中期～後期と遺物の出土が確認されており、市内では珍しい晩期の土器も確認されている。さらに、石剣の出土も報告されている。

《調査の概要》

集合住宅の建設に伴う事前の確認調査で、トレンチ1本を設定して掘削を行った。

《主な遺構・遺物》

遺構：なし 遺物：土器（縄文～古墳時代）

《調査の成果》

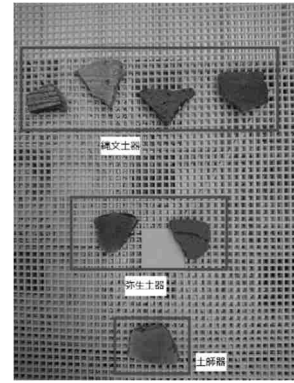
耕作土もしくは造成土（1層）直下には、スコリアを多く含む層（2層）が確認された。3層は斜面地に沿って堆積しており、下り方面に向かって堆積が厚くなる。基本的に土器はこの層から出土しており、3層以下からの出土は認められない。4層、5層も斜面に沿った堆積が認められた。この直下に溶岩礫を含むローム層の上面と考えられる層を検出した。

当該地は斜面地の中腹辺りの場所であり、土層は上方から流れた土であると判断できる。土器も縄文土器、弥生土器、土師器が混在して3層で検出されている事からもこのような判断をした。



写真 21 トレンチ完掘状況

写真 22 出土遺物



(2) 向谷戸遺跡

《遺跡の概要》

向谷戸遺跡は芝川が蛇行した芝川橋の南側の段丘を包蔵地とする遺跡である。この遺跡も本発掘調査はない。

この遺跡は縄文時代中期、弥生時代後期～古墳時代前期の遺物が散布されているのを確認している。

《調査の概要》

個人住宅建替に伴う事前の確認調査で、トレンチ1本を設定して掘削を行った。

《主な遺構・遺物》

遺構：なし 遺物：土器・石器（縄文時代）

《調査の成果》

トレンチ1は1層の耕作土直下に暗褐色の2層が堆積していたが、ところによっては1層直下に3層の古富士泥流上部岩盤層が検出された。2層は3層の起伏の低い部分に流入している土と考えられる。

遺物は土器が表採、石器が2層中から出土した。

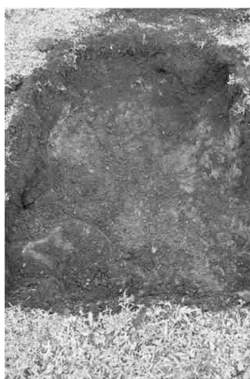


写真 23 トレンチ完掘状況

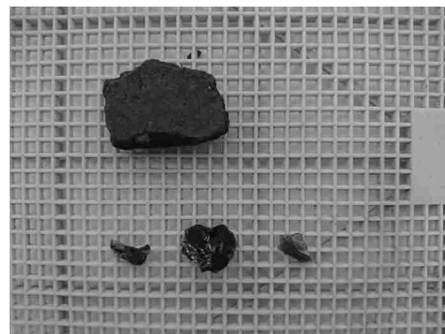


写真 24 出土遺物

(3) 滝戸遺跡

《遺跡の概要》

滝戸遺跡は、富士宮市立第三中学校の校庭を中心に潤井川まで広がる大遺跡で、縄文・弥生・古墳時代にまたがる複合遺跡である。これまでの調査によって、縄文時代の

堅穴住居跡や配石遺構、弥生時代から古墳時代にかけての住居跡や方形周溝墓などが発見され、各時代の土器・石器などの遺物も多数発見された。

《調査の概要》

宅地造成に伴う事前の確認調査で、トレンチ1本を設定して掘削を行った。

《主な遺構・遺物》

遺構：なし 土器・石器（縄文時代）

《調査の成果》

トレンチは1層の耕作度直下に2層の大沢スコリアと3層の富士黒土層を検出した。3層の下には、4層の栗色土層が堆積していた。この土層より土器や石器が出土した。栗色土層の下には5層の明褐色土層が堆積している。遺物は4層以外では表採したものがある。



写真 25 トレンチ完掘状況

写真 26 出土遺物



（4）泉遺跡

《遺跡の概要》

泉遺跡は潤井川が滝戸溪谷で東に大きく迂回する内側の微高地に営まれた弥生後期から古代の遺跡である。東を南流する方辺川沿いの狭い範囲に弥生時代後期の堅穴住居跡15基、環濠1条、更に古墳時代後期から奈良・平安時代の堅穴住居跡10基が重なって見つかっている。また、潤井川沿いにも弥生時代後期と古墳時代後期の堅穴住居が見つかっている。洪水に見舞われた中での集落の再構築の様子がうかがえる遺跡である。

《調査の概要》

宅地分譲工事に伴う事前の確認調査で、トレンチ4本を設定して掘削を行った。

《主な遺構・遺物》

遺構：なし 遺物：土器（古墳～奈良・平安時代）

《調査の成果》

以下、Tr1、Tr2を設置した場所を区画1、Tr3を設置した場所を区画2、Tr4を設置した場所を区画3と称する。

区画1では、黒褐色の耕作土の下層には暗褐色の2、3層や黒褐色のスコリアを含んだ4層が確認された。この4層の直下に遺物を包含する5層が検出された。いずれも現況地盤から70cm前後で確認されている。

区画2では、1層の耕作土が区画1よりも深く入り込んでおり、その直下にある6、

7層はかく乱を受けている。また、8層は水成堆積と考えられる砂層を呈している。
区画3では、黒色の粘性がやや強い9層が1 m以上続いていることが確認できた。



写真 27 トレンチ完掘状況

写真 28 出土遺物



4 埋蔵文化財活用事業

埋蔵文化財活用事業として、以下の教室・シンポジウムを行った。

名称	内容	実施日	参加者数
「作ろう！勾玉」教室	勾玉作り	令和3年8月13日 令和3年8月21日	午前6名、午後6名 午前2名、午後3名
シンポジウム 「史跡大鹿窪遺跡の歴史と環境」	基調講演 基調報告 討論会	令和4年3月26日 (web開催)	60名

5 富士宮市埋蔵文化財センター

発掘調査で出土した遺物を収蔵保管し、整理作業を行っている。また、展示室では市内の遺跡・史跡の展示をしている。

(1) 施設概要

所在地：富士宮市長貫 747-1
電話番号：0544-65-5151
FAX番号：0544-65-2933
駐車場：50台
開館日：平日（祝日・年末年始休館、土・日曜日は団体のみ(要事前連絡)）
開館時間：9:00～17:00
見学料：無料
展示内容：旧石器時代から中世・近世の各時代出土資料、市内主要遺跡の紹介、史跡富士山関連遺跡発掘調査出土資料



写真 29 展示室

IV 郷土資料館事業

1 展示

(1) 常設展示

- ① 富士宮市の歴史（パネル解説・年表等により通史を紹介）
- ② 富士山の信仰（パネル解説）
- ③ 富士山麓の動物・自然（剥製・年輪・溶岩類等）

(2) 館蔵品展示

駿甲国境争論（国境確定記念に作成された火鉢・古絵図）、二股村石経塚（一字一石経）、大宮城出土大甕（常滑焼）等

(3) 企画展（8月～10月）

- ① 「速報 史跡大鹿窪遺跡/滝戸遺跡 発掘調査」展

期間：令和3年8月17日～10月29日

内容：史跡大鹿窪遺跡の史跡整備に伴う再発掘調査結果の報告及び滝戸遺跡第4次発掘調査の速報展

(4) 静岡県富士山世界遺産センターとの共催展

- ① 「富士山表口の歴史と信仰 ―浅間大社と興法寺―」展

期間：前期 令和3年7月10日～8月9日

後期 令和3年8月14日～9月11日

会場：静岡県富士山世界遺産センター（富士宮市宮町5-12）2階 企画展示室

内容：富士山登山道の1つで、富士宮市を通る表口の歴史と信仰について、富士山本宮浅間大社と村山の興法寺を中心に紹介。

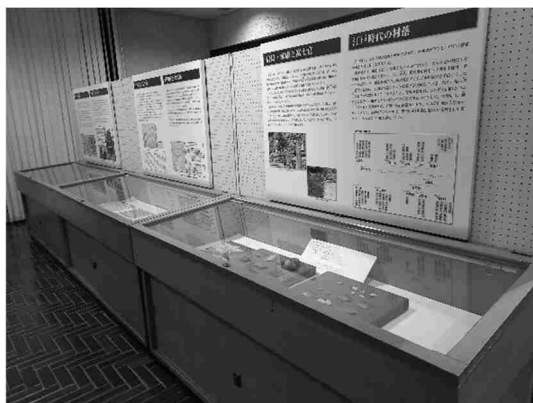


写真 30 常設展示

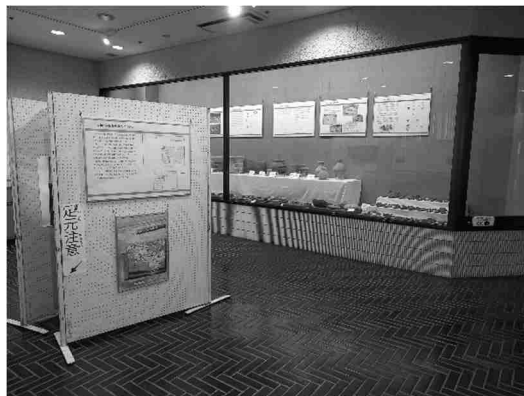


写真 31 館蔵品展示後期（10月～3月）

2 資料収集・保存管理

(1) 資料収集

表2 郷土資料収集品一覧

受入月	内容	収集方法
令和3年 4月	歴史資料 1点	個人寄贈
4月	写真資料 12点	個人寄贈
4月	歴史資料 1点	個人寄贈
4月	歴史資料 1点	個人寄贈
4月	歴史資料 1点	個人寄贈
4月	写真資料 12点	個人寄贈
4月	歴史資料 一式	個人寄贈
4月	歴史資料 3点	個人寄贈
5月	歴史資料 1点	個人寄贈
5月	歴史資料 一式	個人寄贈
8月	歴史資料 1点	現地採集
8月	民俗資料 一式	個人寄贈
10月	歴史資料 1点	個人寄贈
10月	写真資料 3点	個人寄贈
11月	歴史資料 1点	個人寄贈
11月	美術資料 1点	個人寄贈
令和4年1月	民俗資料 1点	個人寄贈
1月	美術資料 1点	個人寄贈
1月	歴史資料 1点	現地採集
2月	歴史資料 一式	個人寄贈
3月	歴史資料 23点	個人寄贈
3月	歴史資料 1点	個人寄贈
3月	歴史資料 9点	個人寄贈
3月	写真資料 3点	個人寄贈
3月	写真資料 6点	個人寄贈
3月	民俗資料 一式	個人寄贈

※市史編さん事業において資料募集を行い、寄贈資料については郷土資料館で受け入れを行ったため、収集点数が大幅に増加した。



写真 32 掛軸

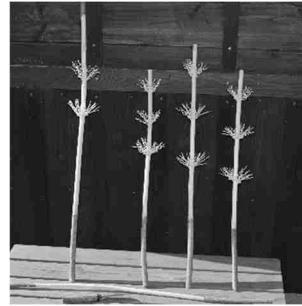


写真 33 削り花

(2) 保存管理

ア 収蔵品くん蒸事業

日 時：令和3年9月24日(金)から9月26日(日)まで

場 所：被覆くん蒸（埋蔵文化財センター収蔵庫内）（富士宮市長貫747-1） 約 50 m³
 埋蔵文化財センター収蔵庫 約 600 m³
 埋蔵文化財センター別棟 約 550 m³

内 容：埋蔵文化財センター収蔵庫内で、被覆くん蒸法により、薬品名エキヒューム S による殺虫・殺カビくん蒸を実施した。あわせて、埋蔵文化財センター収蔵庫・同別棟では、薬品名ブンガノンによる殺虫処理を実施した。（施工業者：関東港業株式会社）

3 市内石造物悉皆調査事業

令和6年度刊行予定の『富士宮市史』「民俗編」の基礎資料とするため、市内石造物の悉皆調査を実施した。

(1) 令和3年度実績

富士宮市住宅地図に従い、市内最南端山本、貫戸地区から順次北上する形で、淀師、青木地区付近まで悉皆調査を実施した。調査は4人一組（ナビゲーター・写真撮影担当・実測担当・調査票記載者）で各石造物の全容写真の撮影、及び刻字解読、法量測定したものを調査票に記入し、所在位置を住宅地図に落とし込むことを基本にしている。令和3年度の調査実施日は59日、調査個数は1,310基であった。

以下に主要なものの種別ごとの調査個数を記す。

表3 令和3年度 石造物悉皆調査実績

石祠	170 基	灯籠	160 基	馬頭観音	158 基	旗立石	108 基
題目塔	85 基	記念碑	80 基	地蔵	44 基	手洗石	37 基
道標	34 基	甲子塔	32 基	標石	28 基	聖観音	25 基

※灯籠・旗立石は2基1対のものも1基とした。

※既に調査が実施されている道祖神・庚申塔については除外。

V 歩く博物館事業

1 標柱・説明板整備

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に関連する「曾我の隠れ岩」「狩宿の下馬ザクラ」などについて既存の標柱・説明板の説明内容の更新、および新設を行った。また歩く博物館Sコース⑩「猫沢のカシワ」について、案内板の建て替え、および新設を行った。



写真 34 説明板更新・追加



写真 35 案内板新設

VI 市史編さん事業

1 概要

令和元年度に設置した市史編さん準備室は、令和2年度に市史編さん室と改称し、本格的に編さんを進める段階となった。

市史は、市民に親しみやすいものとなるよう、図や写真を多用した図説的な形式で、市制施行80周年を迎える令和4年度以降に分野別に刊行する予定である。

市史刊行スケジュール

令和4年度 自然環境編

令和6年度 民俗編

令和7年度 通史編Ⅰ（先史・古代・中世）

令和8年度 通史編Ⅱ（近世）

令和9年度 通史編Ⅲ（近現代）

2 市史編さん委員会

市史編さん委員会は1回開催した。内容は、令和4年度の自然環境編刊行に向けて、市史の印刷仕様や市史の内容構成についての検討を行った。

（1）市史編さん委員会の開催

第1回 開催日：令和4年1月28日（金）

内 容：市史の印刷仕様、市史の内容構成ほか

3 分野別の活動

昨年度から継続して、自然環境、民俗、考古、中世、近世、近現代の分野ごとに活動を実施した。市史編さん委員・執筆員により、打合せや行事調査、資料調査等を実施した。また、自然環境の分野では原稿の執筆を開始した。

（1）自然環境

- ・執筆員 13名
- ・打合せ 1回 執筆内容・スケジュールの確認
- ・調査 2回 （ボーリング資料の確認、生態調査）

（2）民俗

- ・執筆員 4名
- ・打合せ 1回 目次・執筆分担の検討

- ・行事調査・聞き取り調査 20回（火入れ、神社祭典、盆行事、小正月行事、民具調査等）
- ・集中調査 1回（猪之頭地区）

（3） 考古

- ・打合せ 3回 目次・執筆分担の検討、仮原稿の検討

（4） 中世

- ・執筆者 4名
- ・打合せ 1回 目次、執筆分担検討

（5） 近世

- ・執筆者 5名
- ・資料調査 20回 古文書目録作成等

（6） 近現代

- ・執筆者 4名
- ・資料調査 15回 古文書目録作成、聞き取り調査等）



写真 36 聞き取り調査の様子（民俗）



写真 37 古文書調査の様子（近世）

4 その他

事務局において市内の資料の所在を把握するため、市民に向けて古い資料の提供を呼び掛けた。

令和3年度は25件の情報提供をいただき、写真撮影等により資料の記録をした。

VII その他の事業

1 問合せ対応

富士宮市の歴史や民俗などに関する、市内外からの問合せに対応した。要請に応じ、講座等の説明・案内を行った。

2 小中学校総合学習への対応

市内小中学校の総合学習（富士山学習）の一環として、児童・生徒の訪問・質問に対応した。また、各学校を訪問し講話を行った。

3 講師派遣

（１） 富士山まちづくり出前講座

富士山まちづくり出前講座は、市民の自主学習の支援や市政の広報のために設けられたもので、令和３年度も文化課職員が講師となり、中学校や交流センターにおいて、「ふるさとの歴史を学ぶ」と題して講座を開催した。

表４ 令和３年度富士山まちづくり出前講座実施一覧

場所	対象	実施日	内容
地域活動支援センターふらっと	生徒	令和３年４月９日	史跡大鹿窪遺跡についての解説
北山中学校	生徒	令和３年５月13日	江戸時代の北山についての解説
大富士中学校	生徒	令和３年５月18日	歩く博物館Nコース「万野原開墾の歴史」の解説
柚野中学校	生徒	令和３年５月28日	柚野地区の歴史や身近にある文化財の紹介
上野小学校	生徒	令和３年６月18日	史跡千居遺跡についての解説
貴船小学校	生徒	令和３年10月21日	学校周辺の文化財の探索
大宮小学校	生徒	令和３年11月24日	朝霧高原の開拓
歩く博物館Fコース（富丘地区）	一般	令和４年３月７日	歩く博物館Fコース「風祭の里を歩く」の解説

(1) 富士宮市文化財保護審議会委員及び富士宮市立郷土資料館運営協議会委員

任 期 令和元年9月1日から令和3年8月31日まで

令和3年9月1日から令和5年8月31日まで

根拠法令等 富士宮市文化財保護条例第45条第2項

富士宮市立郷土資料館条例第6条第3項

	氏 名	分 野
会 長	植松 章八	考古・史跡
副会長	北垣 俊明	天然記念物（地質・鉱物）
委 員	芦澤 幹雄	地域史
委 員	小川 只道※	重要文化財管理（大石寺）
委 員	川名 義博	重要文化財管理（北山本門寺）
委 員	甲田 吉孝	重要文化財管理（富士山本宮浅間大社）
委 員	建部 恭宣	建造物
委 員	松田 香代子	民俗・無形民俗文化財
委 員	本間 裕史	重要文化財管理（西山本門寺）
委 員	渡井 正二	民俗・古文書
委 員	渡邊 定元	天然記念物（植物）

※ 令和3年12月1日から堀部正円氏に変更になりました。

(2) 史跡富士山整備委員会委員

	氏 名	役 職 等	分 野
委員長	坂詰 秀一	立正大学名誉教授・元学長	考古学
副委員長	田中 哲雄	元東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科教授 姫路市日本城郭研究センター名誉館長	造園学 遺跡整備
委 員	建部 恭宣	富士宮市文化財保護審議会委員 元富士山世界文化遺産静岡県学術委員会委員	建築学
委 員	谷川 章雄	早稲田大学人間科学学術院長	考古学
委 員	中村 羊一郎	静岡産業大学総合研究所客員研究員 元富士山世界文化遺産静岡県学術委員会委員	民俗学
委 員	渡井 正二	富士宮市文化財保護審議会委員 元富士山世界文化遺産静岡県学術委員会委員	近世史 民俗学

(3) 名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」整備委員会委員

	氏 名	役 職 等	分 野
委員長	渡邊 定元	元東京大学教授 φ 森林環境研究所長	生態 環境
副委員長	天野 光一	日本大学理工学部教授	景観工学
委 員	池邊 このみ	千葉大学園芸学部教授	景観論 環境計画
委 員	佐野 貴司	国立科学博物館地学研究部鉱物科学研究グループ長	地質学 岩石・鉱物 鉱床学
委 員	関 文夫	日本大学理工学部教授	土木工学
委 員	増澤 武弘	静岡大学客員教授	生態 環境
委 員	渡井 正二	富士宮市文化財保護審議会委員 元富士宮市世界遺産関連学術調査指導員	近世史 民俗学

(4) 史跡大鹿窪遺跡整備委員会委員

	氏 名	役 職 等	分 野
委員長	向坂 鋼二※	静岡県考古学会会長	考古学
副委員長	北垣 俊明※	富士宮市文化財保護審議会副会長 奇石博物館副館長	地質学
委 員	小林 謙一	中央大学文学部教授	考古学
委 員	篠原 和大	静岡大学人文社会科学部教授	考古学
委 員	小代田 仁	鳥並区区長	地域代表
委 員	建部 恭宣	元富士山世界遺産静岡県学術委員会委員 富士宮市文化財保護審議会委員	建築学

※ 令和3年5月27日から委員長が北垣俊明氏に変更になりました。

(5) (仮称) 富士宮市郷土史博物館基本構想検討委員会委員

	氏 名	役 職 等	分 野
委員長	小笠原 永隆	帝京大学 教授	有識者
副委員長	北垣 俊明	富士宮市文化財保護審議会 副会長	有識者
委 員	植松 章八	富士宮市文化財保護審議会 会長	有識者
委 員	大高 康正	静岡県富士山世界遺産センター 教授	有識者
委 員	片山 康嗣	史跡公園等関係団体	その他
委 員	諸星 桜	富士宮市PTA連合会	教育関係者
委 員	山本 哲	世界遺産構成資産関係団体	その他
委 員	渡井 正二	富士宮市文化財保護審議会 委員	学術関係者

(6) 富士宮市史編さん委員

任 期 令和2年2月14日から令和4年2月13日まで
令和4年2月14日から令和6年2月13日
根拠法令等 富士宮市専門委員設置規則第3条

	氏 名	役 職 等	分 野
委員長	谷川 章雄	早稲田大学人間科学学術院教授	考古学
副委員長	橋本 誠一	静岡大学人文社会科学部教授	近現代史
委 員	小山 真人	静岡大学未来社会デザイン機構教授	自然環境
委 員	西田 かほる	静岡文化芸術大学文化政策学部教授	近世史
委 員	松田 香代子	愛知大学非常勤講師	民俗学
委 員	山田 邦明	愛知大学文学部教授	中世史

※令和4年3月31日現在（委員・役職名等）

※委員は五十音順

富士宮市内指定文化財等一覧

〈令和4年3月31日現在〉

国指定文化財（21件）

No.	種別	文化財の名称	所在地	所有者（管理者）	指定年月日
1	重要文化財・建造物	富士山本宮浅間神社本殿	宮町	富士山本宮浅間大社	明 40. 5. 27
2	〃 ・ 〃	大石寺五重塔	上条	大石寺	昭 41. 6. 11
3	〃 ・ 絵 画	絹本着色富士曼荼羅図	宮町	富士山本宮浅間大社	昭 52. 6. 11
4	〃 ・ 工芸品	太刀（銘南无薬師瑠璃光如来/備前国長船住景光）	宮町	富士山本宮浅間大社	明 45. 2. 8
5	〃 ・ 〃	脇差（銘奉富士本宮源式部丞信国/一期一腰応永廿四年二月日）	宮町	富士山本宮浅間大社	〃
6	〃 ・ 〃	太刀（銘吉用）	上条	大石寺	大 12. 3. 28
7	〃 ・ 書跡典籍	法華経（常子内親王筆）	西山	西山本門寺	昭 24. 2. 18
8	〃 ・ 〃	紺紙金字法華経（開結共）	西山	西山本門寺	〃
9	〃 ・ 〃	貞観政要巻第一（日蓮筆）	北山	北山本門寺	昭 27. 7. 19
10	〃 ・ 〃	細字金字法華経（藍紙）	北山	北山本門寺	昭 29. 3. 20
11	〃 ・ 古文書	法華證明鈔（日蓮筆）	西山	西山本門寺	昭 27. 7. 19
12	〃 ・ 〃	日蓮自筆遺文	上条	大石寺	昭 42. 6. 15
13	〃 ・ 〃	日蓮遷化記録（日興筆）	西山	西山本門寺	平 5. 1. 20
14	特別名勝	富士山	二合目以上他	（富士宮市他）	昭 27. 11. 22
15	特別天然記念物	狩宿の下馬ザクラ	狩宿	個人（富士宮市）	昭 27. 3. 29
16	〃	湧玉池	宮町他	富士山本宮浅間大社	〃
17	史 跡	千居遺跡	上条	大石寺	昭 50. 6. 26
18	〃	大鹿窪遺跡	大鹿窪	富士宮市	平 20. 3. 28
19	〃	富士山	八合目以上他	（富士宮市他）	平 23. 2. 7
20	名勝・天然記念物	白糸ノ滝	原・上井出	（富士宮市）	昭 11. 9. 3
21	天然記念物	万野風穴	山宮	（富士宮市）	大 11. 3. 8

県指定文化財（24件）

No.	種別	文化財の名称	所在地	所有者（管理者）	指定年月日
1	建造物	西山本門寺本堂厨子	西山	西山本門寺	昭 29. 1. 30
2	〃	富士山本宮浅間大社社殿	宮町	富士山本宮浅間大社	〃
3	〃	大石寺御影堂	上条	大石寺	昭 41. 3. 22
4	〃	大石寺三門	上条	大石寺	〃
5	絵 画	富士浅間曼荼羅図	宮町	富士山本宮浅間大社	昭 56. 10. 23
6	工芸品	脇差（銘出羽大掾藤原国路）	大中里	個人	昭 37. 6. 15
7	〃	青磁蓮弁文大壺	宮町	富士山本宮浅間大社	昭 52. 3. 18
8	〃	青磁浮牡丹文香炉	宮町	富士山本宮浅間大社	〃
9	〃	人形手青磁大茶碗	宮町	富士山本宮浅間大社	〃
10	〃	鉄板札紅糸威五枚胴具足	宮町	富士山本宮浅間大社	〃
11	書跡典籍	万暦本一切経	上条	大石寺	昭 52. 3. 18
12	〃	重須本曾我物語	北山	北山本門寺	昭 53. 10. 20
13	無形民俗文化財	富士宮囃子	宮町他	富士宮囃子保存会	平 7. 3. 20
14	天然記念物	村山浅間神社の大スギ	村山	村山浅間神社	昭 31. 5. 24
15	〃	西山本門寺の大ヒイラギ	西山	西山本門寺	〃
16	〃	北山本門寺のスギ	北山	北山本門寺	昭 32. 5. 13
17	〃	大晦日五輪のカヤ	内房	個人	昭 40. 3. 19
18	〃	村山浅間神社のイチョウ	村山	村山浅間神社	昭 43. 7. 2
19	〃	上条のサクラ	上条	個人	〃
20	〃	富士山芝川溶岩の柱状節理	羽鮒	個人	昭 59. 3. 23
21	天然記念物	猪之頭のミツバツツジ	猪之頭	個人	昭 60. 11. 29
22	〃	大晦日のタブノキ	内房	個人	昭 62. 3. 20
23	〃	芝川のポットホール	下柚野	（富士宮市）	平 7. 3. 20
24	〃	精進川の大カシワ	精進川	個人	平 29. 3. 24

市指定文化財（43 件）

No.	種別	文化財の名称	所在地	所有者（管理者）	指定年月日
1	建造物	平等寺の三門	東町	平等寺	昭 60. 3. 11
2	〃	井出家高麗門及び長屋	狩宿	富士宮市	平 7. 3. 16
3	〃	妙蓮寺 5 棟	下条	妙蓮寺	平 23. 5. 24
4	〃	上稲子八幡宮の厨子	上稲子	八幡宮	平 25. 6. 20
5	〃	龍興寺の厨子	内房	龍興寺	〃
6	〃	芭蕉天神宮本殿	内房	芭蕉天神宮	〃
7	絵 画	天象の図	村山	村山浅間神社	昭 55. 1. 11
8	〃	太郎坊権現の図	村山	村山浅間神社	〃
9	〃	阿字曼陀羅	村山	村山浅間神社	〃
10	〃	伝末代上人画像	村山	村山浅間神社	〃
11	彫 刻	大日如来坐像（胎蔵界）	村山	村山浅間神社	昭 57. 8. 23
12	〃	大日如来坐像（金剛界）	村山	村山浅間神社	〃
13	〃	大日如来坐像（胎蔵界）	村山	村山浅間神社	〃
14	〃	役行者倚像	村山	村山浅間神社	〃
15	〃	不動尊像	村山	村山浅間神社	〃
16	〃	隨身像	宮町	富士山本宮浅間大社	平 5. 5. 25
17	工芸品	伝源義助作大薙刀	宮町	富士山本宮浅間大社	昭 40. 5. 10
18	〃	弥陀観音勢至の軸（阿弥陀三尊雲越之来迎図）	上柚野	延命寺	平 24. 5. 24
19	書跡典籍	後陽成天皇宸翰	宮町	富士山本宮浅間大社	昭 40. 5. 10
20	〃	外国語（英・蘭）辞書類一括	中央町	個人	昭 63. 4. 15
21	〃	三島ヶ嶽経塚出土経卷	宮町	富士山本宮浅間大社	令 1. 7. 18
22	古文書	袖日記	大宮町	個人	昭 60. 3. 11
23	〃	角田桜岳日記	長貫	富士宮市	令 1. 7. 18
24	〃	旧池西坊北畠氏文書（村山浅間神社所蔵文書）	長貫	村山浅間神社	令 4. 1. 24
25	〃	旧大鏡坊富士氏文書（村山浅間神社所蔵文書）	長貫	村山浅間神社	令 4. 1. 24
26	考古資料	三連甕形土器	黒田	個人	昭 55. 1. 11
27	〃	安養寺の土偶	杉田	安養寺	昭 57. 8. 23
28	〃	駿州富士郡二股村石経塚	栗倉	個人	昭 63. 4. 15
29	〃	銅造虚空蔵菩薩像懸仏	宮町	富士山本宮浅間大社	平 29. 5. 18
30	無形民俗文化財	火伏念仏	内野	火伏念仏保存会	平 11. 1. 26
31	〃	富士山本宮浅間大社流鏑馬	宮町	富士山本宮浅間大社流鏑馬保存会	平 18. 9. 8
32	史 跡	大室古墳	小泉	（上小泉八幡宮）	昭 60. 3. 11
33	〃	中野梅市建立の句碑	黒田	本光寺	〃
34	〃	虚空蔵社古墳	西小泉町	個人	平 5. 5. 25
35	天然記念物	大宮縄状溶岩	元城町	富士宮市	昭 44. 4. 1
36	〃	フジキクザクラ	上条	大石寺	昭 57. 8. 23
37	〃	中央町のカヤ（カヤの木）	中央町	個人	〃
38	〃	猫沢のカシワ	猫沢	個人	平 26. 4. 30
39	〃	西山本門寺のシダレマキ	西山	西山本門寺	〃
40	〃	寛妙寺のイヌマキ	内房	（橋上町内会）	〃
41	〃	平野のエドヒガンザクラ	羽鮒	平野町内会	平 29. 5. 18
42	〃	田貫湖のハコネグミ	佐折	富士宮市白糸財産区	令 3. 6. 18
43	〃	田貫湖のアシタカツツジ群落	佐折・猪之頭	富士宮市白糸財産区 富士宮市猪之頭財産区	令 3. 6. 18

国登録有形文化財（1 件）

No.	種別	文化財の名称	所在地	所有者（管理者）	登録年月日
1	建造物	吉澤家住宅煉瓦蔵	宮町	個人	平 27. 3. 26

富士宮市文化財年報 第 12 号

令和 5 年 3 月 31 日

編集 富士宮市教育委員会

発行 富士宮市教育委員会

静岡県富士宮市弓沢町 150 番地

電話 (0544) 22-1111(代)

印刷 株式会社きうち印刷

